

2019(平成 31:令和元)年度事業報告(2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日)

A. はじめに

B. 人材育成(人づくり)事業

1. 勉強会「てらこや」
2. 講師・ファシリテーター派遣
3. ニュースレター「かわらばん」

C. 研究(知づくり)事業

1. 研究者との連携

D. 実践(場づくり)事業

1. 国際協力
2. 地域保健医療支援
3. 他 NGO などとの連携

E. 事務局業務

1. 事務局運営
2. 広報
3. 会員

F. 会計(収支報告書も参照)

A. はじめに

2018-19 年度は、前年度より取り組んでいる JICA の「草の根技術協力支援型」への提言に向けて JICA 中部とのコンサルテーションを重ねて、申請につなげることができた。

昨年に引き続き、「人づくり」「知づくり」「場づくり」として整理した活動項目に沿って報告する。

B. 人材育成(人づくり)事業

1. 勉強会「てらこや」開催(別表参照)

原則として奇数月第4金曜日、昭和生涯学習センターでの開催を継続し、開催後には、法人サイトと FB ページで内容を広報している。今年度は 6 回開催した。なお、年度当初計画していた Web サイトでの会員限定ページでの資料共有については資金ならびに人手不足のため未着手である。

2. 講師・ファシリテーター派遣

- ①国際リハビリテーション研究会の依頼を受け、2018 年 11 月 24 日(土)開催の「第 2 回国際リハビリテーション研究会学術大会」に座長を派遣した。(石本)
- ②JICA の依頼を受け、「NGO 向け事業マネジメント研修(立案講座)」にコメンテーターを派遣した。(2018 年 12 月 20 日(木)、2019 年 4 月 15 日(月)～16 日(火)、計 3 回、樋口)
- ③アジア保健研修所の依頼を受け、2019 年 6 月 8 日(土)に開催の「薬は誰のもの？ー私たちの健康と世界貿易」にコメンテーターを派遣した。(樋口)

3. ニュースレター「かわらばん」発行

2019 年 1 月に第 3 号、7 月に第 4 号を各 4 ページで発行した。

C. 研究(知づくり)事業

1. 研究者との連携

2018 年 10 月～2019 年 4 月開催の「NGO 向け事業マネジメント研修」(主催: JICA)を受講し、その一環である「立案編・実践調査」として 2019 年 3 月 24 日～30 日(派遣期間 3 月 23 日～31 日)東ティモール民主共和国にて現地の地域保健情報システムを調査した。実施に当たりパーツ大学公衆衛生学部に協力を依頼し、調査で得た知見を共有した。調査結果は「NGO 向け事業マネジメント研修」報告書内にまとめるとともに、2019 年 5 月の勉強会で報告した。また、JICA 草の根技術協力事業への提案書にも反映させた。

D. 実践(場づくり)事業

1. 国際協力

前述 C-1 で得た結果を基に JICA 事業 2 件に応募した。

- ①2019 年度世界の人びとのための JICA 基金「東ティモールにおける日常保健データの質向上と活用をピアモニタリングするためのツール開発」(2019 年 1 月応募、不採択)
- ②2019 年度第 1 回草の根技術協力事業(支援型)【パーツ大学における「住民ニーズに基づく保健実践」のための教育強化プロジェクト】(2019 年 6 月応募、同年 10 月 2 日採択通知受領)

2. 地域保健医療支援

2014年8月5日付で愛知国際病院と交わした法人委託契約について、週半日の地域医療連携室への医師派遣を継続していたが、事務局事情で2019年7月以降休止中となっている。

3. 他 NGO などとの連携

- ①中部 NGO-JICA 中部地域協議会に参加し、JICA 事業の動向について情報収集した。(2019年2月26日(火)開催、石本)
- ②アジア保健研修所との共催で「グローバルヘルス学習会 薬は誰のもの？—私たちの健康と世界貿易」を開催した。(2019年6月8日(土)開催、樋口、石本)
- ③「市民の伊勢志摩サミット3周年記念 SDGsと市民協働」に参加し、SDGsを取り巻く状況の変化を確認するとともに、他団体と情報交換した。(2019年6月15日(土)開催、石本)
- ④PHC 関連の情報収集を目的に、PHM (People's Health Movement) にメーリングリスト参加を申請した。(2019年9月)

E. 事務局業務

1. 事務局運営

事務局は前年度に引き続き、樋口倫代と石本馨 2 名で運営している。樋口は木曜日半日(事務局)、土曜日半日(愛知国際病院への派遣)の勤務となっている。石本は、原則月曜日と木曜日の勤務で、広報、渉外、経理、庶務など事務局業務全般を担当している。

経理、納税は、決算期のみ松坂税理士事務所への相談を行っている。法人登記関係については、必要時のみ平良一器司法書士のアドバイスを受けている。次年度が理事改選期にあたるため、平良氏には関係書類作成等を依頼した。

2. 広報

引き続き、「大学病院医療情報ネットワーク研究センター(umin)」のホームページサービス上の無料サイトを利用している。ウェブサイトと連動させてフェイスブックページも継続している。

広報の見直しにより、昨期から今期前半でウェブサイトの大幅改訂をプロテックに依頼した。両サイトの「お知らせ」と「活動報告」月2回をめどに更新している。

新たな試みとして、メールマガジン(会員向け、会員以外向け)開始、勉強会情報を中心に不定期で配信した。

法人パンフレットを2018年8月に改訂版を100部印刷し、今年度から利用した。また、英文パンフレットも次年度発行に向けて準備中である。

3. 会員・寄付

2019年9月末で個人正会員32人(うち終身会員4人)、個人賛助会員3人、団体会員3団体である。新規入会は5件あった。

上記のうち、3年以上の会費未納による社員資格喪失該当者は5名となるため、個人正会員が27名となる。

会費以外に、9名より合計631,000円の寄付をいただいた。

F. 会計(収支報告書参照)

2019年9月末の収入総額 2,088,051 円、支出総額 2,324,525 円(法人税等 131,000 円を含む)であった。今年度収支差額は-236,474 円であった。今年度末の純資産合計は 8,060,418 円となる。

別表. 勉強会実績

回	日時	内容	参加人数	担当
1	2018/11/16	難民緊急救援活動を行うスタッフの日常を振り返る ～2000年のコソボ～	4	近藤麻理(関西医科大学)
2	2019/1/25	バングラデシュにおける障害と開発～障害者を取り巻く現状と活動の実際～	10	山内章子(日本キリスト教海外医療協力会)
3	2019/3/15	ミャンマー・カレン州の農村に暮らす障害者の実態調査から	14	河野眞(国際医療福祉大学、国際リハビリテーション研究会)
4	2018/5/17	東ティモールでの地域保健プロジェクト事前調査報告 ～take offに向けて～	9	BiPH
5	2018/7/26	多様性の中の統一 ～量的研究と質的研究の両方を経験した私が選んだのは?～	11	榎木美樹(名古屋市立大学)
6	2018/9/12	People's Health Assembly って何? 第4回 PHA@バングラデシュへの参加から	7	宇井志緒利(立教大学)